

RFMD ニュース

会社連絡先:

RF Micro Devices Inc.
Brian K. Cockman, Public Relations Specialist
7628 Thorndike Road
Greensboro, NC 27409-9421, USA
電話: +1 (336) 678-8945
bcockman@rfmd.com



各種無線インフラの設計で選ばれる RFMD 社の製品

*基地局、WLAN、ポイントツーポイント無線システムなどの
各種無線標準に対応する低雑音増幅器*

ハワイ州ホノルル、2007年6月14日 (IEEE MTT-S): 移動通信駆動用各種アプリケーション向け高性能無線システム/ソリューションの設計、製造で世界をリードするRFMD社(ナスダック:RFMD)は本日、ガリウム砒素(GaAs) 仮像型高電子移動度トランジスタ(pHEMT)による低雑音増幅器(LNA)シリーズ、RF386Xを発売することになったと発表した。700MHz~3800MHzをカバーする新しいpHEMT広帯域LNAは競合する他社製品をおさえ低雑音特性と高い直線性の総合性能でクラス最高の性能を達成しており、携帯電話、WLAN、WiMAXのインフラを含む無線ネットワークに最適な新製品。

「このRF386XファミリーLNAはマルチオクターブの周波数範囲をカバーする広帯域特性と極めて優れた低雑音特性と直線性を同時に達成しているため、様々な無線システムの信号品質を大幅に改善可能です。世界中の様々な成長市場で当社の優れた広帯域ソリューションが各種システム設計に採用されています。」とインフラ製品グループを担当するRFMD社のジェフ・シーラー副社長は語る。

RF386XシリーズLNAはCDMA、PCS、DCS、UMTS、WLAN、WiMAXといった用途向けの初段低雑音増幅/リニアドライブとして設計されたデバイス。このLNAシリーズには1段構成、2段構成、2チャンネルなど各種の構成があり、各LNAは内部整合されている。このため、最小限の外部バイアスだけで利用できるなどネットワーク設計上の柔軟性が高く設計要件がシンプルなことから市場投入リードタイムの短縮が可能。なおRF386XシリーズのLNAはいずれも業界標準の低コストQFNパッケージで供給される。

RFMD社はLNAなどの小信号デバイスの最大の供給者で、主に携帯端末業界向けに4億個以上もの小信号デバイスを出荷した実績をもつ。RFMD社はその高度な設計技術、化合物半導体プロセス技術、パッケージ技術、製造規模など核となる既存の競争力を生かし、各種の成長市場向けに新LNAを含む各種インフラ製品の販売を拡大している。

RFMD 社について: RFMD(NASDAQ: RFMD)社は移動通信の主要アプリケーション向けに高性能な無線システム/ソリューションの設計、製造を行う会社で、この業界のグローバル・リーダー。RFMD社のパワーアンプ、送信モジュール、携帯電話用トランシーバ、およびシステム・オン・チップ(SOC)ソリューションは現在および次世代の携帯端末、基地局、無線ローカルエリアネットワーク(WLAN)、無線パ

パーソナルエリアネットワーク(WPAN)、全地球測位システム(GPS)などの最新機能をサポートし、全世界的なモビリティの向上と接続性の拡大に寄与するもの。最先端の半導体技術による幅広い製品ラインと無線システムの豊富な経験で定評のある RFMD 社は、現在および将来の市場要求を満たす最新無線機能のサプライヤーとして、世界中の主要な移動通信機器メーカーから選ばれている。

ノースカロライナ州グリーンズボロに本社を置く RFMD 社は ISO 9001 および ISO 14001 の認証取得済みのメーカーで、世界各地にエンジニアリング、設計、販売、サービスの拠点を持つ。RFMD 社は RFMD 銘柄で米ナスダックグローバルセレクト市場に上場しています。なお詳しい情報は RFMD 社のホームページ、www.rfmd.com に紹介されている。

このプレス・リリースには、1995 年米国私募証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act) がその免責条項として定める「将来的な予測」が含まれています。この「将来的な予測」には当社の計画、目的、説明、主張などについて、またはそれ以外についての記述が含まれていますが、これらの記述は歴史的な事実ではなく、通常は「可能」、「必要」、「予測」、「期待」、「予定」、「計画」、「推測」、「確信」、「推定」、「予想」、「可能性」、「継続」などの用語や類似の用語とともに使用されています。またこれらとは別の表現で「将来的な予測」が記述される場合もあります。この文書に含まれている「将来的な予測」の記述は現時点における経営陣の判断や期待を表していますが、実際の成果や出来事、業績などはこれら記述で表現されたり暗示されたりした内容とは実質的に異なる場合もあります。当社は米国連邦証券取引法により要求される場合を除き、これら「将来的な予測」の記述内容を改訂したり、あるいはその記述の改訂を公表したりする意図を持っていません。RF マイクロデバイセス社の事業には多くのリスクや不確実性が内在しており、その内容には四半期毎の経営成果の変動、無線関連市場の発展や成長率、ウェハ製造施設、分子線エピタキシー施設、組み立て施設、試験、テープ、リール施設など各種製造施設の稼働に関するリスク、熟練技術者や開発リーダーを採用・確保する当社の能力、生産歩留りの変動、革新的技術によりコストを削減し正味利益率を改善する能力、新製品を市場に投入する能力、顧客の在庫センターを通して行う委託販売への依存性、製品需要に即応したタイムリーな生産能力の調整を行う能力、限られた顧客への依存性、サードパーティへの依存性などが含まれています。上記以外にも含むこれらリスクや不確実性については米国証券取引委員会の様式 10-K に従った RF マイクロデバイセス社の最新アニュアルレポートの中で説明されていますが、このような不確実性のため、これら記述の表現や暗示による内容と実際の成果や出来事、業績とは実質的に異なる場合があります。

RF MICRO DEVICES® および RFMD® は RFMD, LLC の商標である。その他の商品名、商標、登録商標はそれぞれの所有者の財産である。

###